

平成28年10月13日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL ミャンマーにおける大規模事業拡大に向けて、Central Financeオーナー兼Myanmar Distillery Company Limited (MDC)グループ会長であるAung Moe Kyaw氏と提携へ

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、ミャンマーにおけるファイナンスサービス新会社の設立に向けてAung Moe Kyaw氏と関連会社(AMKコンソーシアム)と提携し、事業拡大に向けた新しい戦略的な動きに出ることを公表いたしました。GL社は本日プレスリリースを公表いたしましたので、その内容を日本語にてご紹介いたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

2016年10月13日

件名: **GL ミャンマーにおける大規模事業拡大に向けて、Central Finance オーナー兼 Myanmar Distillery Company Limited (MDC)グループ会長である Aung Moe Kyaw 氏と提携へ**

タイ証券取引所(SET)上場でDigital Finance 事業を展開する Group Lease Company Limited (GL)は、ミャンマーにおけるファイナンスサービス新会社の設立に向けて Aung Moe Kyaw 氏と関連会社(AMK コンソーシアム)と提携し、事業拡大に向けた新しい戦略的な動きに出る。

本提携により GL は AMK コンソーシアムと合弁のサービス会社を設立する。この合弁会社は、AMK コンソーシアムが保有するファイナンス会社 Century Finance Co., Ltd (Century Finance) のサポートを行い、好景気に沸くミャンマー市場とりわけ地方在住の方々に様々なファイナンスサービスを提供していく。

GLは、新サービス会社設立においてシンガポール子会社である Group Lease Holdings PTE. Ltd. (GLH) を通して57%を保有し、残りの43%をAMK コンソーシアムが保有する。新会社は2016年末か2017年初旬に設立を予定する。

GL 会長兼 CEO の此下益司氏は2016年10月13日のバンコクで開催された Aung Moe Kyaw 氏との覚書調印式で以下のように述べた。我々は、Aung Moe Kyaw 氏及びその関係会社と事業提携ができることを大変光栄に思っている。これはまさに Win-Win 関係の提携である、なぜなら我々のビジネスモデルである “Digital Finance” の専門性と有効性が、Aung Moe Kyaw 氏のミャンマー全土に広がる広範囲なネットワークと結び付けるからだ。GL が同日に発表した SET 開示資料によると AMK コンソーシアムは、ミャンマーのウィスキー販売市場の約65%を押さえており、2万2千以上の食料雑貨店がエージェントとなっている。そのうち1,400店舗では質屋等のファイナンスも行っている。この販売ネットワークは、店舗数でミャンマー最大であり、GL のビジネスモデルである “Digital Finance Platform” に完全に合致している。

GL はカンボジアにおける True Money との提携から分かるとおり、GL の “Digital Finance” はこのような AMK コンソーシアムの膨大な販売エージェントネットワークを最大限活用できる唯一のビジネスモデルである。ミャンマーにおけるビジネスモデルは、インドネシアにおける Bank J Trust との “チャネリングサービスモデル” とカンボジアにおける True Money との “エージェントモデル” を混合した形になる。これらのビジネスモデルは、非常にユニーク且つ斬新で革新的なもので、混合させることにより、より効果的にミャンマーの人々、特に地方の草の根経済圏の方に様々なファイナンスサービスを提供していくことができる。

Century Finance は、ミャンマー中央銀行によりライセンスを受けた15のノンバンクファイナンス会社の一つであり、現在は自動車リースサービスを主事業としている。

GL の経験とサポートを受け、Century Finance のファイナンスサービスは、新設の合弁会社が経営する “チャネリングサービス” を通して、今後オートバイ、農機具、ソーラーパネルなど様々な商品に広がっていく。

GL のこの AMK コンソーシアムとの提携は、ミャンマーのマイクロファイナンス会社、BG Myanmar Microfinance (BGMM) の買収の直後に行なわれた。新設の合弁会社は、ミャンマー市場において、BGMM を通してマイクロファイナンスローン、Century Finance を通じて米収穫機械のような大型サイズのファイナンスを提供するといった形で総合的なファイナンスサービスや商品を提供していくことになる。

このミャンマーにおける大規模な拡大は、ミャンマー政権改造後、米国の経済制裁解除により、好景気に沸く中で行なわれた。GL はタイを本拠地とし、カンボジア、ラオ

ス、インドネシア、スリランカ、そして BGMM 及び AMK コンソーシアムとの提携によりミャンマーへの拡大となっている。

GL の拡大の成功は、売上と利益の拡大として結果に表れている。第 2 四半期の純利益は、255.85 百万タイバーツで、昨年同期の約 2 倍となっており、7 四半期連続で純利益が記録更新をしている。GL 幹部によると、利益は中長期的に見ても拡大し続けるだろうと自信を見せている。

以 上